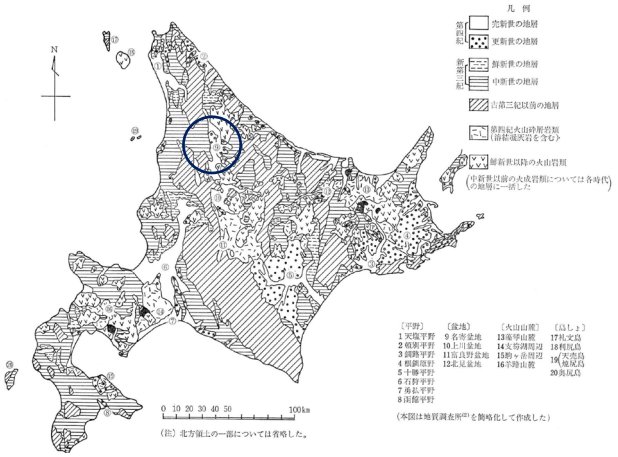
9.名寄盆地



地形・地質

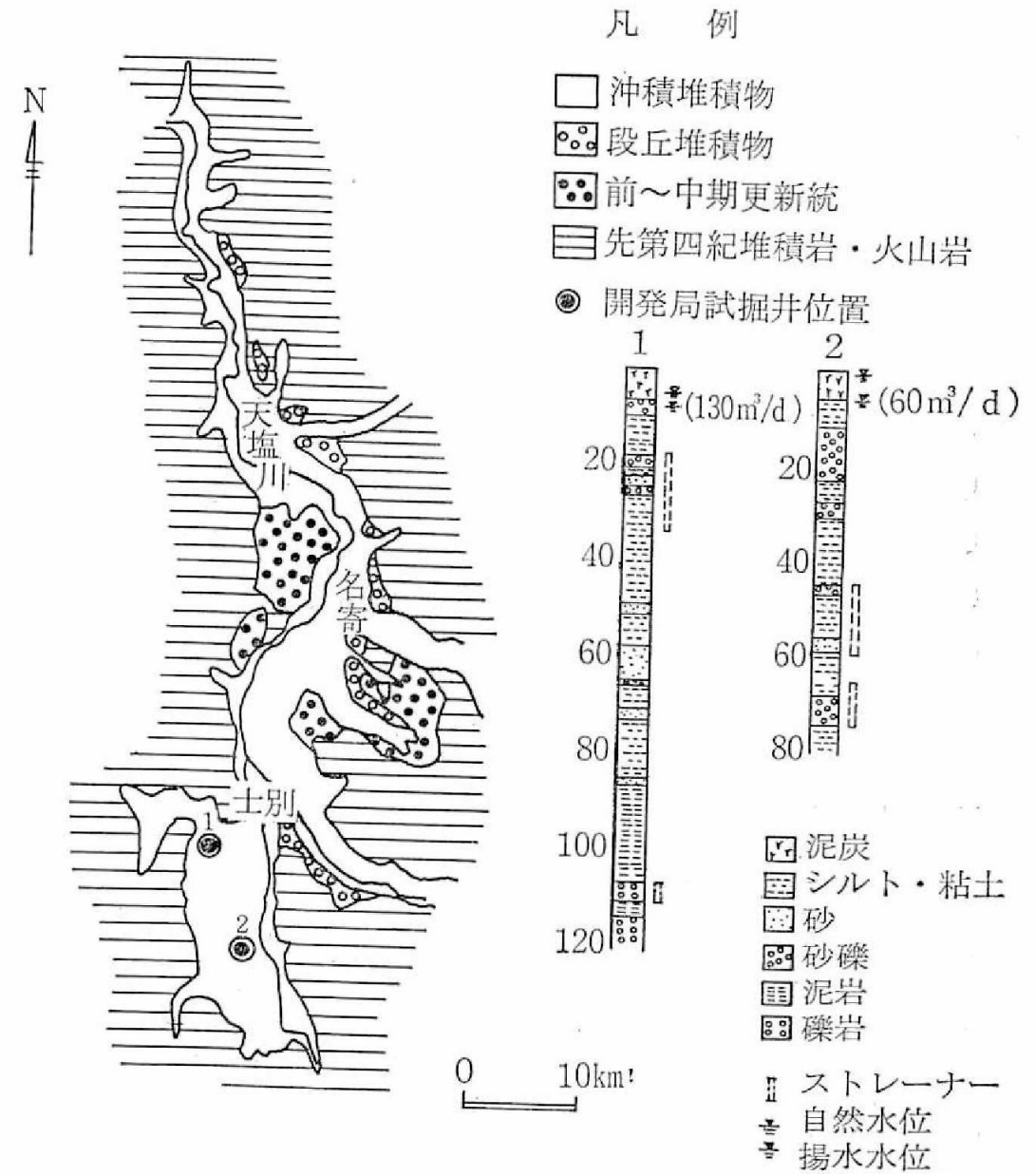
名寄盆地は天塩川の上流部に位置し，盆地内は周辺山地から張り出した標高 250m 以下の丘陵地と天塩川に沿って発達する標高 70～80m の沖積低地に区分されます。

地下水

主要な帯水層は，多寄層を含む第四紀の未固結堆積物です。盆地内には約 400 井の農業用井戸があり，農家の雑用水源として広く利用されています。

土別地域の地層層序

時代		地層名（層厚 m）	岩質
第四紀	完新世	沖積層	砂，礫，粘土，泥炭
	更新世	段丘堆積物	砂，礫，粘土
		風連層 10＋	粘土，砂質粘土，砂礫
		多寄層 30＋	礫，砂，粗粒砂
新第三紀	鮮新世	安山岩溶岩	安山岩，火山角礫岩
		川西層 150＋	砂岩，礫岩，泥岩，凝灰岩
	中新世	美深層	凝灰岩，砂岩，シルト岩，火山角礫岩，安山岩ほか
先新第三紀		上部エゾ層群 中部エゾ層群 日高累層群	砂岩，頁岩，粘板岩，輝緑凝灰岩ほか



名寄盆地の地質図

出典　日本の地下水（農業用地下水研究グループ,1986）（一部加筆）

「日本の地下水」では全国の地下水盆の概要が紹介されています。各地下水盆の概要を紹介している頁と関連する論文等を、下記の Web ページで閲覧できます。

https://jagh.jp/activities/groundwater_database/（日本地下水学会）